

問 空き家発生の未然防止を！

答 関係機関と連携して対応



小久保 照枝 議員 公明党

問 平成28年度以降5年間で空き家状況は。

答 (都市整備課長) 117件増加し、432件。特定空き家等は3件。

問 空き家の苦情対応は。

答 速やかな現地確認、所有者等を特定し必要な措置を行うよう働きかける。

問 除却できた成果と内容は。

答 特定空き家等認定8件の内5件は取り壊した。5年間で9件の除却。

問 空き家バンクの周知は。

答 市ホームページ及びブログに情報を配布。

問 利用件数は。

答 9月1日現在で、19件。

問 「生活困窮者等への住まい確保・定着支援」が出来るか。

答 貸物件登録がほとんど無く、福祉課と連携し情報共有を図る。

問 おくやみコーナーでの手続き時、必要な方にパンフレットなど作成し伝えては。

答 市民課と調整中。

問 市長総括を。

答 (市長) 関係機関との連携を図りながら、空き家発生の未然防止や空き家活用を促進し、管理不全な空き家等へは必要な措置を行うよう働きかけていく。

※特定空き家 空き家の内、放置するのが危険と判断されたもの。



問 高齢者福祉サービスの充実を

答 支援の形を見極めていく

問 福祉車両について以下を問う。

問 市内の福祉施設で福祉車両の貸し出しが出来ないか。

答 (健康福祉部長) 車両貸出制度を設けていない。

問 貸し出しができるように、福祉車両の購入など市として支援はできないか。

答 一時的に必要なとされる方に有効活用ができる支援制度を研究。

問 買い物サポートについて以下を問う。

問 「買い物サロン」の内容は。

答 要支援者等が気軽に集えるスペースの提供と、買い物支援を一体的に実施するもの。

問 利用状況は。

答 令和2年度以降、事業者がなく、開催できていない。

問 補助制度を使い、移動式スーパの公的支援が出ないか。

答 事業内容の特色も踏まえ課題を整理しながら、公的支援について考えをまとめていきたい。

問 市長総括を。

答 (市長) できる支援の形を見極めながら高齢者福祉支援の充実に努める。

